

2015年5月27日 日本テレビ 定例記者会見**《 要旨 》****1. 視聴率動向と編成戦略****・ 視聴率データ**

当社は先週（5月18日週）も週間視聴率三冠王を獲得した。これは17週連続となり、年間で19回目、4月からの年度では8回目となる。日曜日を中心として高い視聴率を維持出来ているが、まだ今年の折り返し地点にも来ていない段階であり、引き続き、視聴者の皆様に支持される番組を作っていきたいと考えている。

・ 7月期改編

基本的に、7月期に改編するのはドラマ3枠のみである。今のところレギュラー番組は好調に推移していると分析しており、ドラマ以外のレギュラー番組は続けていく。7月以降も引き続きレギュラー番組の充実を図り、視聴者の皆様に楽しんでいただくことが基本戦略である。

ドラマに関しては、特に日曜日の枠がまだ定着していないので、ここに強力なソフトを当てることでドラマ3枠とも固めていく。7月期のドラマには4月期以上に期待している。

各局の4月期ドラマの中には、厳しい視聴率が出ているものもあるが、当社の3つのドラマは健闘していると思っている。しかし、日曜ドラマはまだ新しい枠であり、存在がさらに認知されるように、今後もPRを強化していく。

2. 営業状況**・ 放送収入**

4月、タイムセールスは前年同月を少しだけ上回ったものの、ほぼ横ばいの状況である。スポットセールスは前年をかなり上回り、新年度は順調なスタートを切ることができた。視聴率が好調であることをスポンサーの皆様に適正に評価していただいている結果と受け止めている。しかし、東京エリア全体でのスポット投下量は前年をやや下回っており、景気状況によっては今後の展開は不透明である。

7月に夏の恒例となっている大型音楽特別番組「THE MUSIC DAY 音楽は太陽だ。」の放送を予定しており、今後はこのような単発番組を中心にセールスしていく。

・放送外収入

映画は、5月23日（土）に公開された「INITIATION LOVE（イニシエーション・ラブ）」が土日の2日間の興行で14万2,000人の観客動員を実現することができ、良いスタートを切った。

「寄生獣 完結編」は、29日間で106万人の観客動員数を記録した。

イベントでは、昨年11月からお台場の日本科学未来館で開催した「チームラボ 一踊る！アート展と、学ぶ！未来の遊園地ー」が、5月10日で終了し、46万5,995人の方にお越しいただいた。日本科学未来館の開館以来最高の動員記録となった。

恒例のミュージカル「アニー」は、4月25日から5月17日の東京公演を無事終了し、総入場者数約25,300人、同等の規模となった2003年以降、歴代2位の記録だった。

3. その他

・小型無人機ドローンの規制について

テレビ局にとってドローンは、映像取材ツールの一つとして有用なものであり、当社は安全管理に十分配慮しながら適切に使用してきた。様々な規制の動きが出てきているが、これに対しては、民放連、テレビ局各社とも連携を取りながら、取材の自由の過度な制限に繋がらないよう、関係方面に働き掛けていきたいと考えている。

当社としては、報道局、編成局等が中心となり、ドローンの使用に関する安全管理のガイドラインをより充実させ、更に適切に運用していく。

・新会社「HAROiD」設立

日本テレビの「JoinTV」を大幅に拡張し、当社を始め各局のインターネットを使った参加型番組などを手掛けてきた（株）バスキュールの全面的な協力を得て始めるものであり、スマートフォンやスマートテレビ等、様々なデバイスを組み合わせ、新しいコミュニケーションやコンテンツの可能性を広げる事業を展開し、新しい価値を提供するビジネスにチャレンジしていく。

・24 時間テレビ 38 チャリティーマラソンランナーに D A I G O さん

5 月 26 日放送「幸せ！ボンビーガール」の中で、「24 時間テレビ 38」のチャリティーマラソンランナーに D A I G O さんが決まった。引き受けていただいて、本当にありがたく思っている。本番まで時間はあるので、準備をしっかりしていただき、体調万全な状態で臨んでいただければと考えている。

【出席者】

大久保好男 代表取締役 社長執行役員

丸山公夫 取締役 常務執行役員

廣瀬健一 編成局長

(了)